

## 【今帰仁村】

### 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒が情報を積極的に収集し、何が重要かを主体的に考え、他者と協働し、新たな価値を創造するために必要な情報活用能力を育成する。そのため、1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。この過程において、一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」に陥ることなく、両者の良さを適切に組み合わせ活かし、教育 DX を推進していく。

#### 2. GIGA 第 1 期の総括

令和元年度より GIGA スクール構想が始まり、村内小中学校(小学校 3 校、中学校 1 校)に合計 1057 台(Chromebook)の端末やネットワーク環境の整備を行ってきた。それに伴い GIGA スクールサポーターや ICT 支援員を配置し、児童生徒及び教職員の技術面・運用面のサポートを行ってきた。それにより ICT 活用の推進が図られた。

一方、端末の持ち帰りや授業での ICT 活用等に、学校間・学級間で差がみられるとともに、端末の適切な取り扱いや情報モラル教育に課題が見受けられた。また、ネットワークの状況についても学校毎に通信速度に差があることが分かった。

そこで、ネットワーク環境について、ネットワークアセスメントを実施し、改善の検討を行っていくとともに、教員の ICT 活用力のさらなる向上を目指し、ICT に関する研修を積極的に実施し、授業での活用に差が出ないように取り組んでいく。

#### 3. 1 人 1 台端末の利活用方策

端末利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの 1 人 1 台端末の環境を引き続き維持する。

##### (1) 1 人 1 台端末の日常的な利活用

校内のニーズや課題に応じた ICT 研修の積極的な実施により、1 人 1 台端末の効果的な利活用についての情報共有を図るとともに、効果的なデジタルツール等の活用を推進する。

また、授業において児童生徒が自ら調べ、考えをまとめて発表する場面の設定やチャット等を活用し、多様な考えに触れる機会を作り、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組める環境を整備する。

##### (2) 1 人 1 台端末を活用した学びの保障

端末を活用した教育相談や不登校児童生徒への支援、外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に取り組む。

併せて、特別支援教育においては、障害のある児童生徒や合理的配慮を要する児童生徒の支援に取り組む。